

平峰一貴/Kazuki Hiramine

Super GT Rd6 Race Report

Date : 2018/11/03 -11/04	Team : KONDO Racing	Driver :A 内田優大 B 藤井智暢 C 平峰一貴
Class : ST-X	Car : Nissan GT-R Nismo GT3	Circuit : 岡山国際サーキット

Qualify Position 4

今大会はフリー走行から、アウディとランボのペースがかなり強力的な印象でした。

岡山国際サーキットのサーキットレイアウトには、アウディとランボが合っているようです。

しかし、そんな中でも A ドライバー予選で、内田選手がトップタイムをマーク！非常にチームのピット内も盛り上がっていました。これで、内田選手は 3 戦連続 A ドラ予選でトップタイムをマーク。かなり力強い走りでした！その後、藤井選手も懸命にアタックされて、予定していた以上のタイムをマーク。他車の B ドライバーも非常に強力的でした。決勝は、シリーズ 2 位をかけた戦いになりますが、最後までチーム一丸となって戦えるように頑張ります！

Race Finished Position 1 !!!

スタートを担当した藤井選手は、あっという間にポジションを 2 番手に上げ、トップの車両に何度もプレッシャーを掛けていました。その力強い走りのお蔭で、ピットストップも完璧！更に交代した内田選手もプロより速いラップタイムを重ねるなど、驚きの展開を迎えていました。

ピットの中では、やはり内田選手の素晴らしい走りを目にした事で、日産自動車大学の学生の皆さんもより集中が高まりました。しかし、最後まで何が起こるか分からないのがレース。速さとチーム力のお蔭でトップを奪った我々 24 号車は、最後まで絶対に集中を切らさないと強く思っていました。そして最後は内田選手から自身に交代しピットアウトした時には、2 番手との差は 30 秒近くありました。それでも、ペースを緩めることなく懸命にプッシュし続けて最後までトップを守り続ける事が出来ました！

Summery

今大会はチーム、ドライバー、日産自動車大学の学生の皆さん、スポンサー様、ファンの皆様そして、このプロジェクトに関わる関係者全ての皆さんにとって、色々な思いを背負った最終戦でした。また、サーキットに入る前から、全員がとても良い緊張感にあふれて気が引き締まっていました。

そして、この沢山の思いを背負った最終戦で、チーム全員が力を出し切り優勝を獲得する事が出来ました！まさに、チーム全員の力！他チームには絶対のないこの強いチーム力に自身も感動し、いい結果を残せて感謝しております。この 3 年間は喜びや悲しみを味わってきましたが、自身にとってとても貴重な経験と仕事をさせて頂きました。ここまで応援そしてご指導頂きました全ての皆様に感謝とお礼を申し上げます。

最後まで、本当に有難う御座いました！



